

経営比較分析表（令和6年度決算）

石川県七尾市 公立能登総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透I未訓ガ	救臨感へ災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
46,500	38,640	-	第2種該当	7：1

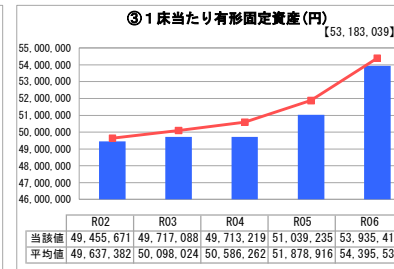
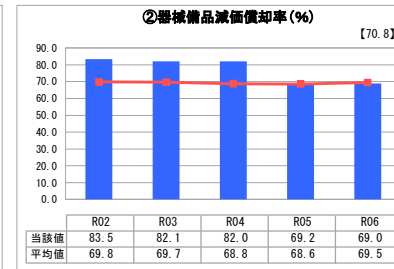
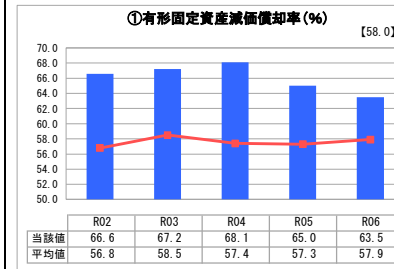
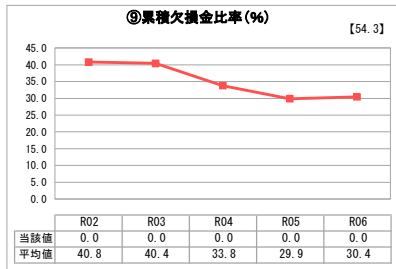
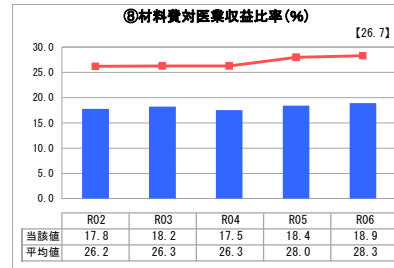
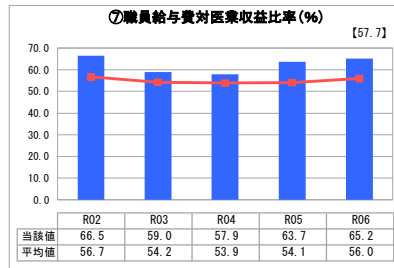
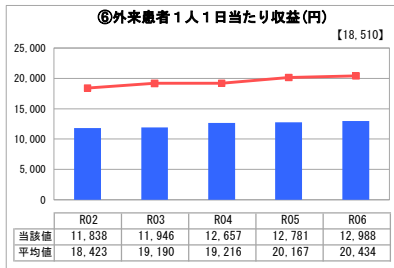
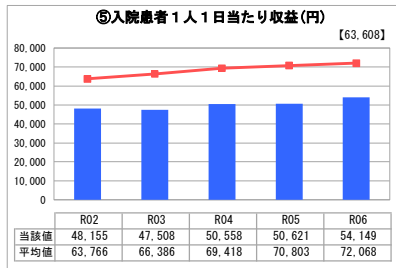
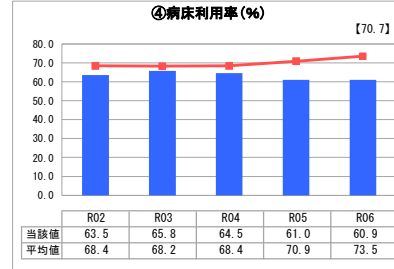
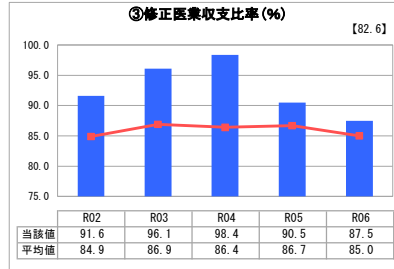
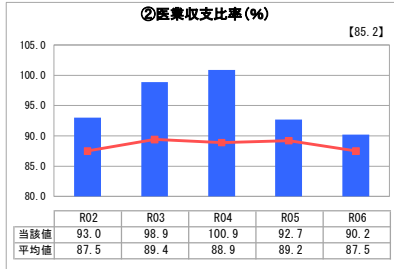
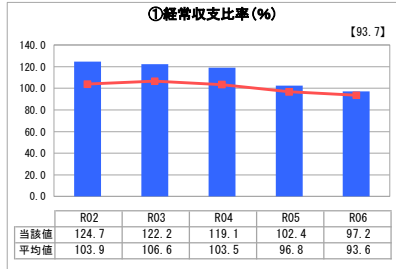
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
330	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	4	434
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
257	-	257

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

能登中部医療圏の自治体病院としての役割を果たすため下記の事項に取り組んでいる。

- ・高度専門医療や救急医療
- ・回復期医療
- ・政策医療(新興感染症含む)
- ・不採算医療
- ・能登北部医療圏の公立病院への診療支援
- ・地域医療連携

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率はこれまで何となく黒字を維持してきたものの、R6年度には100%を下回った。本業である医業収支についても、依然として類似病院を上回る水準ではあるが、R4年度以降は減少傾向が続いている。

さらに、病床利用率の低下に加え、患者の診療単価も十分に確保できていない。一方で、収入に対する職員給与費は増加しており、経営を圧迫する要因となっている。

2. 老朽化の状況について

現在の病院施設は平成11年度に完成したものであり、経年劣化が進んでいる。施設機能を維持するためには、建物や設備の更新・修繕を計画的に進める必要がある。

器械備品については、機器更新が進んだことで減価償却率が類似病院並みの水準となった。一方、有形固定資産全体の減価償却率は老朽化の進行により依然と低く、更新整備が遅れている状況にある。

全体総括

経常収支比率が100%を下回り、経営状況は厳しさを増している。

健全性を確保するためには、救急医療の強化や、かかりつけ医との連携を通じた診療収入の確保に引き続き取り組む必要がある。

一方で、患者数の減少と利用率の低下が続いており、患者1人当たりの収益も類似病院と比較して低い状況にある。こうした課題を踏まえ、収益向上に向けて診療報酬加算の取得強化、専門的医療サービスの提供、効率的な病床運営を推進し、能登地域の中核病院としての役割を果たせるよう、健全な経営体制の確立に努めたい。

※ 1 類似病院平均値(平均値)については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。